

平成5年8月20日

秩父市との姉妹都市提携10周年

『観光と"じばさん"まつり』開催

豊島区のサンシャインシティ地下噴水広場で20日、『観光と"じばさん"まつり』が開催された。「観光と"じばさん"まつり」実行委員会主催。豊島区・同観光協会・同産業協会、秩父観光協議会・同観光協会共催。秩父市後援。サンシャインシティほか協力。なお、「じばさん」とは地場産業のこと。

今回開催されたこのまつりは、豊島区と埼玉県秩父市が姉妹都市を提携して10周年を記念し、両区市の観光事業のPRと地場産品、観光土産品などの販売を目的に開催されたもの。特に、秩父市からは「秋の秩父路キャンペーン」の一環としてキャラバン隊が訪れ、国指定重要無形民族文化財「秩父屋台ばやし」「秩父音頭」の実演や、「ぶどう」「しめじ」などの秩父市の特産物の即売、秩父路宿泊施設優待券・秩父観光土産品などが当たる抽選会が行われ、会場は後10日余りとなった夏休みを楽しむ人などで賑わっていた。

* * *

豊島区と秩父市の姉妹都市提携は、昭和56年3月に同区が基本構想を策定した前後から具体化した。

もともと同区名になっている「豊島」氏が、秩父地方を支配した「秩父」氏と血縁関係にあったこと（平安時代末に秩父氏の一部が豊島郡に移住。秩父武常が豊島氏を称え、その子・近義が、今の北区上中里に城(豊島城と言われる)を築いてから、豊島地方は豊島氏の勢力下に入ったと伝えられている)。昭和44年10月に西武池袋線が秩父まで全線開通し、お互いが始発着駅として80分で結ばれるようになったこと。さらに当時、同区が人口約27万人、面積13平方km（人口密度約2万1千人）という全国屈指の高密度都市に対し、同市が人口が約5分の1の約6万人、面積では10倍の130平方km（人口密度約500人）と好対照をなしていること。また、昭和55年8月には同区と同市の観光協会がすでに姉妹提携を結んでいたこと。これらが契機となって昭和58年10月の姉妹都市提携に発展し、以来、スポーツやレクリエーション活動、文化活動を通じた交流や、同区が同市の民宿と区民保養のための施設として契約するなど、同区と同市は交流を深めてきている。

問合せ 経済課